

特別支援学級・通級指導教室へ通うお子さんの保護者のみなさまへ

津南町教育委員会

## 「特別支援教育就学奨励費制度」について

津南町教育委員会では、障害があり特別支援学級等に通っているお子さんがいる家庭に対し、学校生活を送るうえで必要な経費の一部を援助する「特別支援教育就学奨励費制度」を設けています。

### 【特別支援就学奨励費の内容】

※所得、家族構成、年齢及び家賃の有無などにより支給する費目が異なりⅠ～Ⅲ段階に分かれています。（支弁区分といいます。）

費 目	小学校			中学校			備 考
	Ⅰ 段階	Ⅱ 段階	Ⅲ 段階	Ⅰ 段階	Ⅱ 段階	Ⅲ 段階	
学校給食費	実費の 1/2		—	実費の 1/2		—	
通学費	実費		実費の 1/2	実費		実費の 1/2	・町立学校に通う区域外就学児童生徒 ・通級指導教室へ通う児童生徒で在籍校からの通学に係る交通費が対象
職場実習費				実費		実費の 1/2	参加に必要な交通費の実費分を給付
交流及び共同学習費	実費		実費の 1/2	実費		実費の 1/2	参加に必要な交通費の実費分を給付
修学旅行費	10,790 円		—	28,860 円		—	予定単価を上限として、対象経費の実費分を給付。
校外活動参加費	800 円 (1,845 円)		—	1,155 円 (3,105 円)		—	予定単価を上限として、対象経費の実費分を給付。（）書きは宿泊を伴う場合
学用品費	5,820 円		—	11,370 円		—	
新入学学用品費	28,530 円		—	31,500 円		—	小・中学校ともに 1 学年のみが対象
体育実技用具費	13,255 円 ( 1～3 学年、第 4～6 学年の間で各 1 回の給付 ) ※上限 2 回		—	19,015 円 ( 1～3 学年の間で 1 回の給付 ) ※上限 1 回		—	予定単価を上限として、体育授業で主として行う種目のスキー用具 (板・金具・靴・ストック) の購入時の実費分を給付 ※領収書の提出が必須
拡大教材費	5,250 円		—	5,250 円		—	
オンライン学習通信費	7,000 円	—	—	7,000 円	—	—	

※体育実技用具費の援助を受ける際は領収書を教育委員会へ提出してください。

### 【対象となる保護者】

1. 特別支援学級に在籍しているお子さんの保護者
2. 通級指導教室に通っているお子さんの保護者

※生活保護を受けている方は、それぞれの費用の支給を受けられるため、本制度の対象となりません。

※通級指導教室に通っているお子さんの場合は、通級指導教室へ通うための通学費のみが対象費目となります。

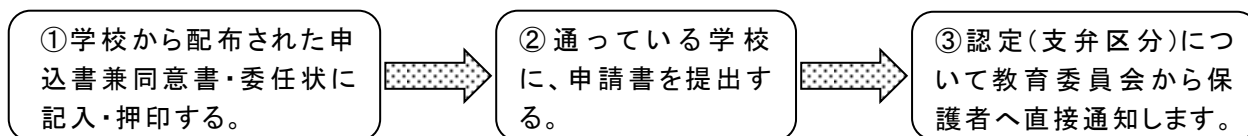
## Ⅱ段階区分の家族構成と所得の例

家族構成	合計所得額
母（30歳）・子（6歳）	400万円程度以下
父（35歳）・母（32歳）・子（6歳）	420万円程度以下
父（42歳）・母（39歳）・子（13歳）・子（11歳）	485万円程度以下

※あくまで目安です。家族構成、年齢及び家賃の有無などによって世帯ごとに異なります。

### 【申請・認定方法について】

#### ●申請手続きの流れ



#### ●提出書類

特別支援教育就学奨励費申込書（収入額・需要額調書）兼同意書・委任状（様式第1号）

用紙に必要事項を記入していただき、ご提出をお願いいたします。なお単身赴任中の保護者や別住所の扶養親族についても記入してください。

※令和7年1月1日時点で津南町以外にお住まいだった方は、令和7年度（令和6年分）の所得・課税証明書を転入前の市町村から取り寄せ、提出してください。

※申請をされない場合は『特別支援教育就学奨励費辞退届』（様式第2号）をご提出ください。

【申請期限】 令和7年4月30日（水）までに学校へご提出ください。

【認定について】 令和7年7月中に教育委員会より認定（支弁区分）のお知らせをします。

### 【支給について】

#### ●支給時期

年3回（8月、1月、3月）

#### ●支給方法

申込書に記載の保護者口座に振り込みます。ただし、学校経費に滞納がある場合は学校長口座へ振込みます。

### 【その他】

就学援助を検討されている場合、就学援助または特別支援教育就学奨励費のいずれか一方の認定になります。就学援助を優先しますが、就学援助の認定に至らなかった際は、特別支援就学奨励費の対象となりますので、両制度とも申請をしてください。

就学奨励費についてのお問い合わせ先

津南町教育委員会 子育て教育班 TEL:765-3118

（津南町役場 2階）